

## 採集ノート (7)

渡辺定路\*

21. *Athyrium × Watanabei* Serizawa カンムリヤマサトメシダ [オシダ科]  
オゼサトメシダとコシノサトメシダの雑種。

a. 特徴 オゼサトメシダに比べ、葉の切れ込みが浅く、大部分の小羽片は多少なりとも羽軸に沿着し、小羽片は丸味を帯び鈍頭～鋭頭、胞子嚢群は半月形～鉤形で長さ 1.2～2耗、胞子嚢は裂開するが、胞子は不定形。葉の表面はオゼサトメシダと同じように有毛である。コシノサトメシダより葉の切れ込みも深く、中部羽片の最下小羽片はやや下先につき、小羽片の裂片は細かくてやや多い。

このシダは昭和50年8月5日、芹沢俊介、下道治一、斎藤寛昭の各氏と冠山へ採集に行った折に、芹沢氏と私が注目し、芹沢氏が植物研究雑誌に発表された。私は奥越の各地をよく探したが未だ第二の産地は発見されていない。

b. 分布 産地・今立郡池田町冠山 1979.8/5 (16629, 16631, 16633, 16638, 16643)  
新雑種

22. *Diplazium × sacrosanctum* Kurata タンゴワラビ [オシダ科]  
オニヒカゲワラビとシロヤマシダの雑種。

a. 特徴 小羽片の中肋下面に短腺毛がないことや、子嚢群が中肋から離れてつくことはシロヤマシダに似るが、葉柄基部の鱗片が宿存性であることや、包膜が毛裂することはオニヒカゲワラビに似ている。

b. 分布 本州(北陸から近畿) 坂井郡金津町宇根 1974.10/27 (13186), 1979.6/17  
(16451) 南条郡河野村河内 1978.11/23 (15994), 1981.8/18 (20279, 20282) 今庄町湯尾  
1976.10/9 (13870) 三方郡美浜町屏風滝 1979.10/9 (17883) 小浜市飯盛寺 1971.9/12  
(11872) 福井県新

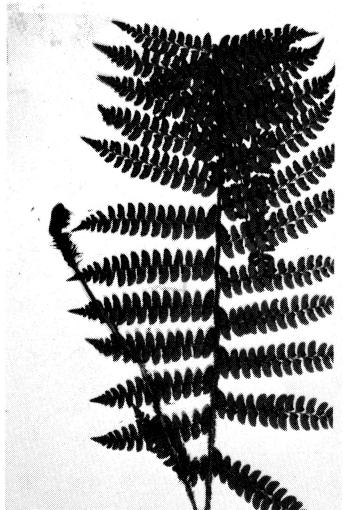
23. *Polystichum × hakonense* Kurata ハコネイノデ [オシダ科]  
サイゴクイノデとアイアスカイノデの雑種。

a. 特徴 葉面はアイアスカイノデと同じく、暗緑色で光沢がある。子嚢群はサイゴクイノデと同じく小羽片の耳垂に優占してつく。

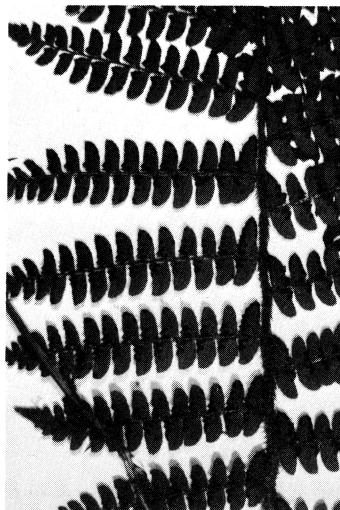
b. 分布 本州(関東地方以西) 九州  
今立郡今立町柳の滝 1978.6/24 (15174) 福井県新

24. *Polystichum × hatajukuense* Kurata ハタジュクイノデ [オシダ科]  
イノデモドキとアイアスカイノデの雑種。

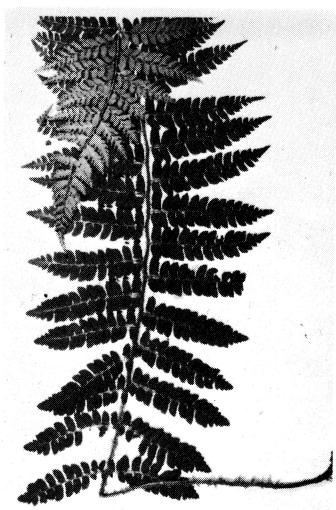
\*福井県立道守高等学校



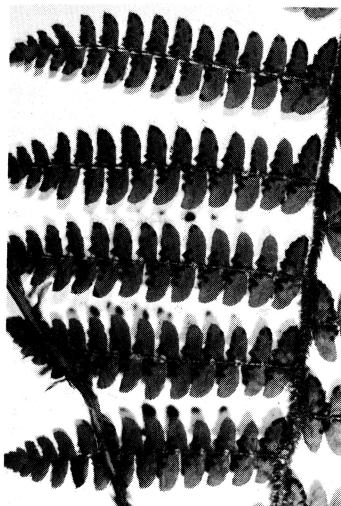
ハコネイノデ



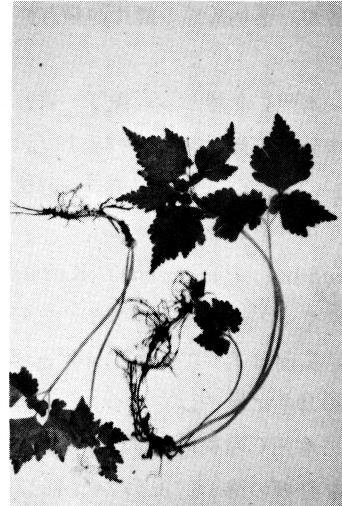
ハコネイノデ



ハタジュクイノデ



ハタジュクイノデ



ツルシロカネソウ

a . 特徴 鱗片が細く、辺縁にあまり歯牙がない点はアイヌカイノデに似ているが、子囊群がやや辺縁よりに耳垂に早くつくことや、葉身の先が長く尾状に伸長する点はイノデモドキに似ている。

b . 分布 本州(東京都以西) 四国 九州

南条郡河野村河内～菅谷 1981.8/31 (20612) 福井県新

25. *Polystichum microchlamys* Matsum. var. *azumiense* Serizawa アズミイノデ

[オシダ科]

a . 特徴 母種のカラクサイノデは高山帯の雪田付近に生育し、葉柄の鱗片は開出する。これに対してアズミイノデはブナ帯上部から亜高山帯に生育し、鱗片は葉柄に圧着することで区別できる。県内で母種のカラクサイノデが見られるのは三の峯頂上付近の避難小屋付近だけである。

b . 分布 北海道 本州(鳥取県以北)

大野市経ヶ岳 1967.10/10 (7174), 1969.7/21 (9213), 1979.8/10 (16664～16667) 赤兎山 1971.8/10 (11335), 1975.8/9 (13324) 三の峯 1981.8/2 (20068, 20123, 20124)  
勝山市小原峰 1968.9/24 (7110), 1971.8/10 (11341), 1979.8/13 (16809, 16810, 16811, 16818, 16835, 16836) 今立郡池田町冠山 1964.7/28 (5392, 6336), 1979.8/5 (16609, 16612)  
福井県新

26. *Drymotaenium miyoshianum* Makino クラガリソウ

[ウラボシ科]

a . 特徴 一見、シラランに似る。葉脚は根茎と関節する。葉は長さ20～40cm、幅3～4cm。子囊群は葉軸の両側の溝につく。暖帶の深山原生林の樹幹につく。その姿がヒモが下がっているように見えるので「キヒモ」ともよばれている。

b . 分布 本州(石川・静岡県以西) 四国 九州 台湾 中国 印度

遠敷郡名田庄村永谷 1980.8/1 (18669) 上坂正夫氏と緑のデーターベンク調査を行った時に採集。これで日本海側は山口県から石川県(能登)までの各県に分布することが確認された。  
福井県新

27. *Isopyrum stoloniferum* Maxim. ツルシロカネソウ

[キンポウゲ科]

a . 特徴 根茎は細長く横にはい、枝を出して繁殖する。節間は伸長する。茎は高さ10～20cmで、基部に1枚の根出葉がある。花は白色、外側にしばしば紫色の条がある。本州の太平洋側の温帶林に生える外帶系要素植物の1種である。

b . 分布 本州(神奈川県～奈良県)

大野郡和泉村滝波山 1981.5/31 (19981) (標高約 900 m) 松村敬二、石本昭司の両氏と行った時に採集。福井県新

28. *Rhodotypos scandens* Makino シロヤマブキ [バラ科]

[バラ科]

a . 特徴 葉は対生、がく片は四枚、緑色の小さい葉のような形をしているが、1対は少し大きく1対は少々小型である。花弁は4枚である。黄のヤマブキは花弁は五枚、葉は互生するなど多くの点でシロヤマブキと異なるので別属である。

b . 分布 本州(岡山県、福井県) 朝鮮 中国中部 丹生郡越前町 1981年 7/9 (20462)

29. *Ilex pedunculosa* Miq. form *longipedunculata* Sadamichi WATANABE

ナガエソヨゴ

[モチノキ科]

a. 特徴 普通のソヨゴの果梗は2~5楳であるが、このものは6~8.5楳に達するものである。私が「大陸の植物」Vol.××VIII. No.2に発表したものである。

b. 分布 大阪府高浜町神野浦 1980.8/8 (18792)  
(Holotype in KANA no. 95310) 新品種

30. *Hibiscus trionum* Linn. ギンセンカ

[アオイ科]

a. 特徴 一年草。茎は直立または斜上し、高さ30楳、若い部分には開出した長毛が散生する。葉は互生し、長柄があり托葉は線形、葉身は基部まで三全裂または三深裂し、各裂片は羽状に深裂または中裂する。花は葉腋に単生、がくの外側に10個内外の外がく（小苞葉）があり、線形で縁には開出した毛がある。がく片は5、卵形で数条の黒線が目立ち、開出した毛が多い。花弁は淡黄色で基部はわずかに合着する。

b. 分布 地中海原産の帰化植物。

坂井郡芦原町芝政 1981.10/6 (20920) 一名「朝露草」朝開花してすぐにしほむことによる。  
福井県新。

31. *Viola grypoceras* A. Gray form *purelllocarata* Hiyama オトメスミレ [スミレ科]

a. 特徴 花弁が白色で、距が帶紫色のもの

b. 分布 大野郡和泉村智那洞谷 1982.4/ (21031) 福井県新

32. *Oenothera laciniata* Hill コマツヨイグサ

[アカバナ科]

a. 特徴 2年草。茎は平状または斜上し、高さ20~40楳、全面に開出した毛が多い。毛の基部は赤色でない（オオマツヨイグサの毛の基部はふくれて暗赤色の凸点となっている。）根生葉は有柄、へら形、羽状裂または波状歯がある。茎上の葉は倒披針形~長だ円形で一般に羽上に中裂している。花は苞葉の腋に単生、がくの下部は長い筒となり、長さ2楳内外、がく片は開花と同時に下方にそり返る。花弁は淡黄色であるが、しほめは黄赤色に変わる。子房は果実に1.8~2.5楳。

b. 分布 北アメリカ原産の帰化植物。明治末に渡来、関東以西に沿海地に多い。

坂井郡三国町三国港付近 1982.11/27 (22724) 福井県新

33. *Rorippa sylvestris* Besser キレハイヌガラシ

[アブラナ科]

a. 特徴 茎は倒伏し、節部より発根する。葉は互生し、やや不規則に羽状に深裂する。花は径4~5楳、黄色、がくは花弁より短い。果実は長さ1~1.5楳。

b. 分布 欧亜大陸原産の帰化植物。中部以北に帰化。湿地を好み、北海道ではヤチガラシとよばれている。



ナガエソヨゴ

坂井郡芦原町水居 1982.10/9 (22381) 福井県新  
34. *Sinapis arvensis* Linn. ノハラガラシ [アブラナ科]

a. 特徴 茎は直立し、高さ60~80厘。粗い毛を散生する一年草。葉は互生、下部のものは有柄で、しばしば羽状に裂け、大きな頂片を持つが、上部のものは無柄で長だ円形、細い波状の鋸歯がある。花は黄色、径一厘内外、果実は長さ2~4厘。

b. 分布 地中海地方原産の帰化植物。

坂井郡芦原町水居 1982.10/9 (22365) 福井県新  
35. *Swertia pseudochinensis* Hara

ムラサキセンブリ [リンドウ科]

a. 特徴 センブリより茎は太く、暗紫色を帯び、大きいものでは50~60厘に達する。茎やがく裂片の縁に隆起する細点がある。花冠裂片の基部近くには、長い毛におおわれた蜜槽がある。この長い毛には乳頭状の小突起がある。

b. 分布 本州(岩手県以西、但し日本海側では山口県、島根県のみ)四国 九州 朝鮮 中国北部 満州 アムール

大飯郡高浜町 1980.9/14 (19383) 福井県新

36. *Amsonia elliptica* Roem. et Schult.  
チヨウジソウ [キヨウチクトウ科]

a. 特徴 川岸や原野のやや湿った草地に生える多年草。茎は高さ50~80厘。葉は無毛で長さ6~10厘、幅1~2厘、普通互生するが、ときに1部対生する。花は5~6月、花冠は青藍色、果実は2本の円柱状、長さ5~6厘。

b. 分布 朝鮮半島 中国

坂井郡金津町菅野 1979.8/2 (71379) 三田治家採集  
1982.9/26 (22306) 福井県新

37. *Callicarpa japonica* Thunh. form. *taquetii*  
Ohwi コバノムラサキシキブ [クマツヅラ科]

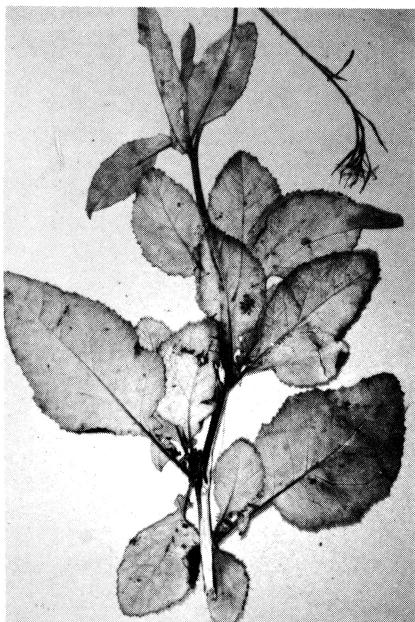
a. 特徴 ムラサキシキブの葉の小さい型で、葉長は2~4厘(母種のムラサキシキブは6~12厘)

b. 分布 本州 四国 九州 朝鮮半島

大野郡和泉村前坂 1982.8/6 (21670)



キレハガラシ



ノハラガラシ

38. *Lamium purpureum* Linn.

ヒメオドリコソウ〔シソ科〕 [シソ科]

a. 特徴 茎はねた基部より直立、高さ10~25厘米の茎は方形で稜上に短毛がある。葉は下方のものは円くて長柄があり、上方のものは柄が短く、茎頂では無柄の苞葉に移動する。苞葉は三角状卵形で紫紅色を帯びる。葉面は細脈にそってしわがあり、両面とも毛を散生する。

b. 分布 欧州原産の帰化植物。明治26年東京駒場において採集されて以来、分布域を広げ、現在東北以西の本州に分布。

福井市足羽町 1981.5/11 (20039) 林幸子採集 福井市橋屋町 1982.6/6 (21302) 福井県新

39. *Salvia lutescens* Koidz. var. *crenata*

Murata. ミヤマタムラソウ [シソ科]

a. 特徴 ナツノタムラソウの変種。アキノタムラソウに似るが、花は淡青紫色で、花冠内面の毛環は筒の中央近くにある。花冠は長さ9~10粂、葉は羽片はやや円くなる。花期も早い。生育場所は谷川の近く等で、増水すると冠水するような所に多い。

b. 分布 本州(中部以北の深山)

大野市三の峯 1972.7/8 (10855) 中水谷 1980.7/22  
(18827) 蟻帽子谷 1982.7/1 (22632) 大野郡和泉村滝波山 1982.5/3 (20877) 福井県新

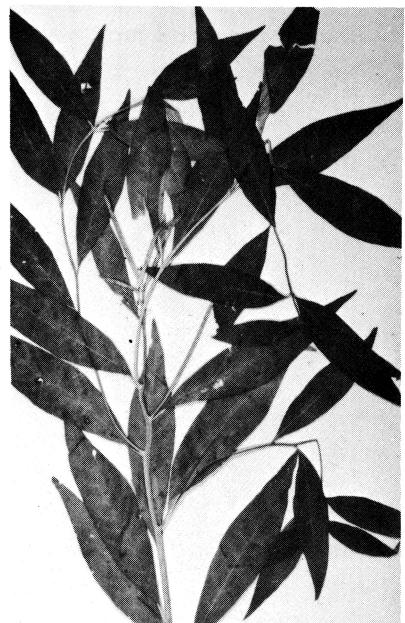
40. *Datula stramonium* Linn.

シロバナチョウセンアカガイ [ナス科]

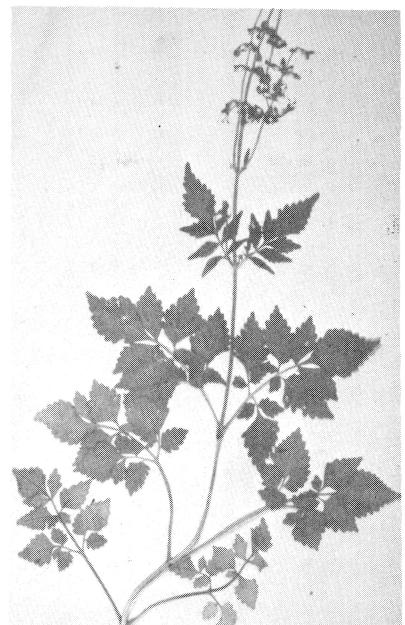
a. 特徴 一年草。茎は淡緑色でほとんど無毛。葉は長さ8~15厘米、成葉はほとんど無毛。花は葉腋に接して単生、花冠はロート形で白色。漢方では葉を「ダツラ葉」と呼ぶが、現在、生薬として用いることなく、硫酸アトロピンの原料として薬及び種子が用いられる。アトロピン(副交感神経の遮断薬の代表的なもので、消化性かいよう、胃酸過多の腹痛、瞳孔の散大に用いられる。

b. 分布 热帯アジア

福井市橋屋町 1982.6/6 (21297)



チョウジソウ



ミヤマタムラソウ

41. *Mazus miquelianus* Makino var. *rotundifolius* Nakai ヤマザキゴケ [ゴマノハグサ科]

a. 特徴 ムラサキサギゴケの茎や花序に腺点や毛の多いもの。

b. 分布 本州 四国 九州

坂井郡芦原町芦原ゴルフ場 1982.5/9 (21231) 福井県新

42. *Adenophora triphylla* DC. var. *japonica* Hara form *leucantha* Hara

シロバナツリガネニンジン [キキョウ科]

a. 特徴 ツリガネニンジンの花色が白色のもの。

b. 分布 母種とともに分布。丹生郡宮崎村熊谷 1981.8/24 (20373) 福井県新

43. *Artemisia stelleriana* Bess. シロヨモギ [キク科]

a. 特徴 海岸の砂地に生える多年草。和名の通り全体に綿毛があって雪白色である。茎は高さ20~40cm。8月下旬頃から円錐花序を作る。

b. 分布 本州(新潟県、栃木県以北) 北海道 樺太 千島 朝鮮 カムチャッカ オホーツク海沿岸。アメリカ、欧州に帰化。

坂井郡芦原町 1980.7/25 (22004) 三田治家採集 1982.8/24 (22047)十数株自生。近年種子がはこばれ自生するようになったと考えられる。

44. *Erigeron annuus* Pers. form. *discoideus* Marie-Vict. et Rousa

ボウズヒメジョオン [キク科]

a. 特徴 ヒメジョオンの舌状花が退化し、筒状花だけになったもの。

b. 分布 日本各地。大野郡和泉村鮎ヶ洞 1982.8/10 (21743) 福井県新

45. *Saussurea pulchella* Fisch. ヒメヒゴダイ

[キク科]

a. 特徴 日当たりのよい乾燥草原に生える越年草。

茎は高さ30~80cm。下部の葉は深く羽裂し、両面には腺点がある。総苞片の先は膜質で淡紅色の附属体がある。

b. 分布 北海道 本州 四国 九州 朝鮮 満州  
樺太 東シベリア

大飯郡大島半島 1980.8/17 (19013) 福井県新

46. *Poa trivialis* Linn.

オオスズメノカタビラ [イネ科]

a. 特徴 細い根茎があり、茎の上部はざらつく。

葉舌は長楕円形で長さ3~6mmと大きい。円錐花序は1節に3~6個の枝と輪生しがらつく。護穎の中央脈の基部に長いいちぢれ毛の束(綴毛)がある。

b. 分布 欧州~西アジア原産の帰化植物。

福井市森田(九頭竜川堤防) 1981.5/23(20909, 20910)



ヒメヒゴダイ

福井県新

47. *Sorghum halepense* Pers. form. *muticum*. Hubb.

ヒメモロコシ(ノギナシセイバンモロコシ)

〔イネ科〕

a. 特徴 セイバンモロコシの小穂に芒(のぎ)がないもの。

b. 分布 地中海沿岸の帰化植物。

福井市勝見町(足羽川河原) 1981.10/31 (20928) 福井県新

48. *Carex breviculmis* R. Br. subsp. *lonchopora* T. Koyama オオアオスゲ

〔カヤツリグサ科〕

a. 特徴 アオスゲより大形で稈は太く、高さ40粒位。葉は幅広く5耗以上(アオスゲは稈は細く10~30稈、葉の幅は2~4耗)に達し、一部は冬も緑色である。鞘は著しく纖維に分解。果胞は大形で長さ3~3.5耗(アオスゲは2~3耗。)

b. 分布 本州 四国 九州の暖帶。

福井市森田(九頭竜川河原) 1980.5/23 (20892) 福井県新

49. *Carex conica* Boott form. *viridescens* Hiyama ミドリヒメカансゲ〔カヤツリンサ科〕

a. 特徴 母種のヒメカансゲは包鞘は赤褐色・鱗片・果胞は赤褐色であるのに対して、これらが緑色のもの。

b. 分布 母種とともに分布。

坂井郡芦原町芦原ゴルフ場 1982.5/9 (21240) 福井県新

50. *Chionographis japonica* Maxim. form. *hokurikvensis* Masamune

ホクリクシライトイソウ 〔ユリ科〕

a. 特徴 母種のシライトイソウは上花被片の長さが5~10耗であるのに対し、ホクリクシライトイソウは10~15耗と長いもの。

b. 分布 北陸地方、福井県内では両方とも見られる。今立郡池田町松尾崎 1982.6/27 (21557)

福井県新

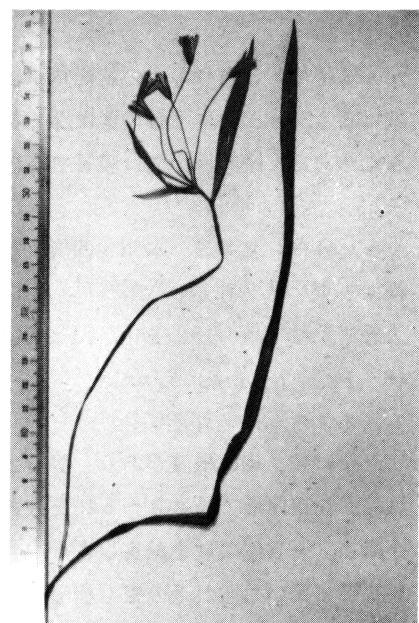
51. *Gagea lutea* Ker-Gawl

キバナノアマナ 〔ユリ科〕

a. 特徴 花被片は黄色、線状長楕円形で長さ12~15耗、先はとがらない。鱗片は卵形で長さ10~15耗。根出葉は長さ15~30稈、幅5~10耗で下部は茎の下部をつつむ。花茎は高さ15~25稈。花は4~5月。

b. 分布 北海道 本州(中部以北に産し、本州西部と四国では稀) 千島 樺太 朝鮮 シベリア東部 欧州に広く分布。

南条郡南条町鑄物師 1980.4/2 (19372) 中村亭採集



キバナノアマナ

52. *Hemerocallis thunbergii* Baker ユウスゲ〔ユリ科〕

a. 特徴 花は淡黄色でノカンゾウに似るが、ノカンゾウは普通果実を結ばないが、ユウスゲは果実ができる。また、根は紡錘状にならない。

b. 分布 本州 四国 九州

大飯郡大島半島 1980.8/17 (19022) 福井県新

53. *Hosta albomarginata* Ohwi form. *albiflora* Ikegami シロバナコバギボウシ〔ユリ科〕

a. 特徴 コバギボウシの花が白色のもの。

b. 分布 本州 四国 九州

大野市立六呂師 1982.8/13 (22063) 敦賀市櫻曲 1982.9/

54. *Rolygonatum odoratum* Druce var. *maximowiczii* Koidz. オオアマドコロ

オオアマドコロ 〔ユリ科〕

a. 特徴 アマドコロより大きく、長さ60~100cm。葉は広く大きく長さ10~20cm、裏面脈上に小突起がある。花も大きく長さ20~25cm。

b. 分布 本州(北部) 樽太 南千島 ウスリー

坂井郡芦原町芦原ゴルフ場 1982.5/9 (21236) 福井県新

55. *Stereoptopus streptopoides* Frye et Rigg. var. *streptopoides*

ヒメタケシマラン 〔ユリ科〕

a. 特徴 タケシマランの基本種で、葉の縁に柱状突起のあるもの。

b. 分布 本州(中部以北) 北海道 樽太 シベリア 北アメリカ西部

勝山市大長山 1982.7/4 (21459) 大野市赤兎山 1962.8/11 (7696)